

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 7 日 (2015.5.7)

【公表番号】特表 2014-530443 (P2014-530443A)

【公表日】平成 26 年 11 月 17 日 (2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報 2014-063

【出願番号】特願 2014-537067 (P2014-537067)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

G 0 6 F 3/0489 (2013.01)

G 0 6 F 3/0354 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 5 4 A

G 0 6 F 3/048 6 1 0

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A

G 0 6 F 3/033 4 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 16 日 (2015.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータ・デバイスが、該コンピュータ・デバイス上で実行しているアプリケーションの現在のユーザ・インタフェースの表示中に該コンピュータ・デバイスの側面に搭載されたタッチパッドにおけるタッチ・イベントを検知する工程であって、前記アプリケーションはナビゲーション階層を含み、該ナビゲーション階層は、ホーム・ユーザ・インタフェース層と、複数のサブ・ユーザ・インタフェース層と、複数のユーザ・インタフェース・ブランチとを含む、前記工程と、

前記コンピュータ・デバイスが、前記現在のユーザ・インタフェースが対応する特定のサブ・ユーザ・インタフェース層と特定のユーザ・インタフェース・ブランチとを判定する工程と、

該タッチ・イベントが進む側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチに次のユーザ・インタフェース層が存在する場合、前記コンピュータ・デバイスが、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチにおける該次のユーザ・インタフェース層にナビゲートする工程と、

該タッチ・イベントが戻る側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチに前のサブ・ユーザ・インタフェース層が存在する場合、前記コンピュータ・デバイスが、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチにおける該前のユーザ・インタフェース層にナビゲートする工程と、

を備える方法。

【請求項 2】

前記タッチ・イベントがタップ・イベントである場合、前記コンピュータ・デバイスが、前記ホーム・ユーザ・インタフェース層に直接ナビゲートする工程をさらに備える、請

求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記アプリケーションはウェブ・ブラウザである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記アプリケーションはオペレーティング・システムである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記側面に搭載されたタッチパッドは凹面を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

装置であって、

ディスプレイと、

側面に搭載されたタッチパッドと、

1 つ以上のプロセッサと、

前記プロセッサに接続されているメモリであって、前記プロセッサによって実行可能な命令を含むメモリと、を備える装置であって、

前記命令の実行時、前記プロセッサは、

前記装置上で実行しているアプリケーションの現在のユーザ・インタフェースの表示中に前記装置の側面に搭載されたタッチパッドにおけるタッチ・イベントを検知する工程であって、前記アプリケーションはナビゲーション階層を含み、該ナビゲーション階層は、ホーム・ユーザ・インタフェース層と、複数のサブ・ユーザ・インタフェース層と、複数のユーザ・インタフェース・ブランチとを含む、前記工程と、

前記現在のユーザ・インタフェースが対応する特定のサブ・ユーザ・インタフェース層と特定のユーザ・インタフェース・ブランチとを判定する工程と、

該タッチ・イベントが進む側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチに次のユーザ・インタフェース層が存在する場合、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチにおける該次の層にナビゲートする工程と、

該タッチ・イベントが戻る側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチに前のサブ・ユーザ・インタフェース層が存在する場合、

前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチにおける該前の層にナビゲートする工程と、

を実行するように動作可能である、装置。

【請求項 7】

前記命令の実行時、前記プロセッサは、前記タッチ・イベントがタップ・イベントである場合、前記ホーム・ユーザ・インタフェース層に直接ナビゲートする工程を実行するようにさらに動作可能である、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記ディスプレイはタッチ・スクリーンである、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】

前記側面に搭載されたタッチパッドは凹面を備える、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 10】

前記アプリケーションはウェブ・ブラウザである、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 11】

前記アプリケーションはオペレーティング・システムである、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 12】

ソフトウェアを具現化する 1 つ以上の非一時的なコンピュータ可読記憶媒体であって、実行時、該ソフトウェアは、

コンピュータ・デバイス上で実行しているアプリケーションの現在のユーザ・インタフェースの表示中に前記コンピュータ・デバイスの側面に搭載されたタッチパッドにおけるタッチ・イベントを検知する工程であって、前記アプリケーションはナビゲーション階層

を含み、該ナビゲーション階層は、ホーム・ユーザ・インタフェース層と、複数のサブ・ユーザ・インタフェース層と、複数のユーザ・インタフェース・ブランチとを含む、前記工程と、

前記現在のユーザ・インタフェースが対応する特定のサブ・ユーザ・インタフェース層と特定のユーザ・インタフェース・ブランチとを判定する工程と、

該タッチ・イベントが進む側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチに次のユーザ・インタフェース層が存在する場合、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチにおける該次の層にナビゲートする工程と、

該タッチ・イベントが戻る側方フリック・イベントであり、かつ、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチに前のサブ・ユーザ・インタフェース層が存在する場合、前記現在のユーザ・インタフェースの前記特定のユーザ・インタフェース・ブランチにおける該前の層にナビゲートする工程と、

を実行するように動作可能である、媒体。

【請求項 13】

前記ソフトウェアは、実行時、

前記タッチ・イベントがタップ・イベントである場合、前記ホーム・ユーザ・インタフェース層に直接ナビゲートする工程、を実行するようにさらに動作可能である、請求項 12 に記載の媒体。

【請求項 14】

前記アプリケーションはウェブ・ブラウザである、請求項 12 に記載の媒体。

【請求項 15】

前記アプリケーションはオペレーティング・システムである、請求項 12 に記載の媒体

。

【請求項 16】

前記側面に搭載されたタッチパッドは凹面を備える、請求項 12 に記載の媒体。